

新型コロナの今だからこそ、介護事業所の「横のつながり」セミナー

セミナーに参加して感じたこと思ったこと

<p>事前の準備（感染症にかかった時の対応）,日頃からの他部署・他事業所との良好な関係性,自分自身の技術向上を忘れない</p>
<p>普段からの備えが重要だということを改めて感じました。 地震の備えと一緒に、非常事態ではあっても日常生活は続いているということに当たり前なことなのに気付けない現実の中、実際に応援に入ったお二人のお話はとても貴重なものでした。ありがとうございました。</p>
<p>コロナ禍になったことで支援のしづらさを多くの場面でかんじることがあると思うが、同時に我々の役割が本人や家族にとって必要性が高いことを改めて感じる機会になった。 コロナ禍になり、当たり前に行っていたことが当たり前に行けなくなってしまい、そこがコロナの怖い所だと思っていましたが、コロナ禍にあわせたサービスの提供を考えていかなければならないと思いました、当たり前をいかに当たり前に行けるようにしていくか、新しいことを考えていく前、今日を通して表面化された課題について考えていきたいと思いました。 印象に残った点は応援支援についてでした。実際にコロナに罹患した方がいる施設での利用者様の状況や職員さんの大変さを肌で感じる事ができました。法人の枠を超えて、地域の施設や病院が気軽に助け合うことが出来れば、宮城県の福祉や介護の発展につながっていくと思います。介護福祉分野では働くすべての人間が、横のつながりを意識していくことが大切だと思いました。</p>
<p>法人を超えた支援をしていたと聞いて驚きました。</p>
<p>応援支援の実際について利用者や支援者の両方の視点からの気持ちの考察についてと平時からの対応の重要性と緊急時でも介護のプロとしての対応ができ気持ちを大事にして人として当たり前で生きる権利を守ることの大切さについて学ばせて頂き介護の本質の大切さについて学ばせて頂きました。</p>
<p>平時からの備えや、それを実践し意識して習慣づけることが重要であると思った。 また、応援支援の方の体験談では、自分の想像を超えた緊張感と切迫感の中で支援を続けなければならなかったケアスタッフのご苦労や、そのような状況の中で逃げ場もなくどうすることもできない利用者の心身の状態はどれほどのストレスや機能低下をもたらしたのか、と考えると胸が苦しくなりました。</p>
<p>正しい感染対策の方法や情報を習得し災害時等に備え様々な関係機関と相談や連絡ができる関係性しておくことが大切だと感じました。</p>
<p>施設でのクラスター発生時、全く知らない施設に手伝いに行く人の勇気に感動しました。</p>

<p>コロナ感染者や介護者の支援は、ニュースで知ることであり、実際は身近なことではなかったの、協力した方々の意見をうかがえたことは良かったと思えました。全く知らない環境や知らない利用者の支援をすることでの、不具合や馴染まなさがあるのは理解できても、普段は気にしない小さい事や当然の事が、壁になることも分かりました。ただ、直接支援をした経験と、聞いてわかっていることとは全然違うのだとも思います。</p>
<p>他の事業所の方との繋がりが難しくなっていますが、皆さんの考え等を聞ける機会がありよかったです。</p>
<p>普段から他事業所、医療機関などのつながり、連携が必要とさらに感じた。</p>
<p>今回セミナーに参加し、感染リスクがあり、不安や恐怖がある中で関わる応援派遣の話の伺い感動しました。また、陽性となった本人が一番不安や恐怖があることとであり、有事の際においても、本人主体という事を忘れずに関わりを持たなければいけないと感じました。</p>
<p>今回参加して、自分たちの置かれている状況が一番にひどい状況だと感じてしまっていたが、実際にはもっときつい状況化で対応している人達もいて頭が下がる思いだった。応援派遣等された方々は、本来であれば自分が感染するのではないかと言う恐怖が先に来るはずなのに、高齢者や障がいの方の日常生活を優先して取り組んでいる姿に感動しました。</p> <p>平時、有事にかかわらず誰にだって日常の生活はあるので、それをないがしろにはできないと感じ、主体性について考えさせられる研修でした。</p>
<p>今回、介護支援をされたお二人の話を伺い、感染された方に直接支援を行う中でも、利用者主体。当たり前前の生活支援。利用者さんの権利。というところをプロとしてしっかり意識され関わられたというところ。大変参考になりました。 日常からしっかりできているから、その様な時にもしっかりできる。このことも大変いい振り返りになりました。</p>
<p>新型コロナウイルスの流行に限らず、これから何があるかわからない時代に備え、先駆的な取り組みと事例報告を受け、在宅介護においても同じような取り組みが生まれることを強く願います。</p>
<p>当日は発表者として参加させていただきました。</p> <p>参加者の方から、身にあまるお言葉をいただき有難かったです。</p> <p>いつだれがコロナにかかってもおかしくないような感染状況です。</p> <p>運が悪かった。仕方ない。ではなく、施設に取り残されるご利用者の当たり前前の日常を支援していくために、法人の枠を超えた横のつながりが周知共有され、支援の輪が広がっていくことを願っています。</p>
<p>事業所の皆さんの不安、緊張が持続している中で、高齢者や家族が安心して暮らせるよう本当に丁寧に配慮があることに改めて頭が下がる思い。事業所同士の情報交換がなかなか難しい現状もわかった。情報連携、共有の要はやはりケアマネジャーだと認識した。</p>
<p>同じ法人などでは、意見交換の場はありましたが、違う法人の方と意見交換する場は少な</p>

<p>かったので、様々な情報共有が出来た事は良かったです。また、コロナ禍での悩みや問題なども知ることで、同じ事での悩みであったり、課題などを共有することで、「自分たちだけではないんだ」・「同じ想いの方もいるんだ」と感じ、心強さも感じました。</p>
<p>直接派遣に行かれた方の話が聞けて、今後施設内でクラスターが発生した時の参考にしたいと感じた。</p>
<p>実際このような事態に直面して、こういうときこそ他の職種との繋がりで『お互い様』という考え方が生きることを認識させられました。</p>
<p>他業種の皆様と貴重な意見交換をすることができ、大変有意義な時間となりました。 このような機会をいただきありがとうございました。 拝聴してはじめて知る活動内容やケース対応など、大いに勉強させていただきました。 コロナ禍の今だからこそスピーディーな情報共有と発信、事業所間でスムーズな連携を行えるように日頃から意識してまいります。</p>
<p>他の事業所さんの話を伺う機会にもなり、また、実体験をもととしたお話も聞いたことは、今後、いざというときに役に立つと思いますし、知らないよりも少しでも知っていることで、心構えも違ってくるのではないかと思います。</p>
<p>連携の大切さを改めて実感できました。 今後の他職種の連携の仕方を考えられるよい機会となりました。ありがとうございました。</p>
<p>今回の研修のようにZOOMの使用など、リモート環境が各事業所でも整備されている割合が増している状況であると思われますので、居宅介護支援事業所同士での情報共有等の機会も良いと思いました。</p>
<p>コロナだからという事ではなく、やはり普段からの取組みや、周りとの連携が大事だと思いました。</p>
<p>応援支援があることを知らなかった。実際の話聞き、日常生活を継続していくための支援に「つながり」が必要だと感じた。</p>
<p>コロナ過であまり横のつながりができない状況だと思っていましたが、逆につながりを密にして皆さんで助け合っていくことの大切さを実感しました。</p>
<p>日頃からの連携がなくては、緊急時（災害発生時）対応することはできないと改めて感じました。</p>
<p>横のつながりが持てればと参加させて頂きました。ただ調剤薬局ではなかなか介護に直接関わることがなく、お話できるエピソードがほとんどないため参加してよかったのかな、場違いじゃなかったかなと感じました。</p>
<p>コロナ禍での繋がりの助け合いの実践発表に感銘を受けました。</p>
<p>コロナ禍において、どの職種も事業所も大きな不安を抱えながら職務にあたっていて、自分たちだけではなかったんだと改めて感じ、少し安心できた。 当施設でも新型コロナ感染者が確認され、対応に追われたことがあった為、佐久間さんと</p>

<p>柴田さんのお話はとても興味深かった。その時ユニット対応に入った自分たちの動きは間違っていなかったのだと、正直ほっとした。</p>
<p>応援支援の体験談の二人の発表を聞くことができ、人手不足になるとは聞きますが、人手不足は本当に深刻な問題になるんだという事。そしてスタッフへの支援も重要であるとの事。入所者はコロナでの制限があっても人としての生活がある事など勉強になりました。短期間で電話をかけれていた方が、かけ方が分からなくなったとの話しもあり、コロナによる影響は大きいと感じました。</p>
<p>いつ自分の身近に起こるかわからないことの為、他人事ではなく自分事として捉えなければならぬと思った。通常のことではない状況の為、発生時の横のつながりでの理解や協力は必要なことだと感じた。非常時だけの連携ではなく、日常的に役割を超えた顔の見える関係作りで備えをしておくことが大切だと感じた。</p>
<p>新型コロナをきっかけとして横のつながりを持つきっかけになれば、不幸中の幸いだと思います。実際にコロナの発生現場に入ることがないに越したことはないのですが、まだ対岸の火事のように思っている人も多い中、沢山の方が興味を持って下さったことはとてもありがたいことだと思います。</p>
<p>クラスターが発生した施設や濃厚接触者となる職員が多数発生した施設は大変な思いをして利用者の方々を守ってきたんだと言う事が伝わってきました。実際に関わった方々は言葉で伝える以上に壮絶な体験をされたのだと感じました。宮城県に「直接派遣」「玉つき派遣」という事業が行われている事をこの研修を通して知りました。関わった方々なら、直接の体験を聞く事ができ大変、勉強になりました。</p>
<p>感染者を出してしまった事業所の対策、感染者に関わった職員の心境など知ることが出来きもしもの時にどう備えていかなければいけないか考えさせられました。同法人での情報共有や連携は図られているも、地域の他の法人との情報共有や連携はまだ十分ではないので何か対策を考えていかなければならない時期なのだと感じました。</p>
<p>事業所のコロナ対策の現状など意見交換がざくばらんにできてよかった。 コロナだからと言って何でもかんでも制限をして利用者の当たり前の日常を奪ってはいけないと思うし、通所や訪問のサービスの方々とも共有できたらもっとよかったと思う。</p>
<p>様々な事業の状況を知る事で、日頃の業務でなんとなくこうだろうと思っていたことが、明確になったり、サービス事業所が配慮していることがわかったので、こちらもその上で調整することができるようになった。</p>
<p>自分の施設でも利用者と職員に感染者が出たので、施設内でクラスターが発生し他の施設から応援に入った話を実際に体験された方から聞いたことは意義深かった。</p>
<p>コロナウイルス感染症が発生した施設で対応された2人の発表が心に響きました。また、事前に対応の仕方を学び準備しておくことが大切だということも分かりました。</p>
<p>感染が発生した場合、一つの事業所だけでは対応しきれないことがよく分かった。それと同時に事業所や法人の枠を超えた連携が大切だということも分かった。</p>

<p>居宅介護支援事業所の感染対策の取り組み方や、モニタリング訪問の仕方などほぼ同じような対応していたことを共有できて良かったです。また、ケアマネとして緊急事態宣言が発令中であっても、モニタリング訪問し、状況を確認する必要があることを痛感させられました。</p>
<p>コロナ禍でありながらも、たくさんの工夫を凝らして業務にあたっておられること、感心しきりでした。</p> <p>介護分野に限らず、障害分野など「横のつながり」の幅をさらに広げて行くことが必要だと考えさせられました。</p>
<p>電話などで情報のやり取りなどを行っているつもりでも今回のコロナ禍により情報は分断され不安を感じている方が多かったことを感じる。また、zoomを介することで補えることが電話より多いと感じた。</p> <p>地域による温度差を感じた。</p> <p>守秘義務に対する理解。必要に応じた対応を知る事ができ、より利用者や施設、地域における公衆衛生に繋がれると感じた。</p>
<p>各事業所の立場において、コロナに対する遭遇や対応方法を知りよかったです。</p>
<p>皆さん事業所は違えど、日々頑張っておられることを感じ、私も少しずつご利用者の想いを実現出来るよう今を乗り越えていきたいと思いました。</p>
<p>他の事業所の感染予防対策など普段聞く機会も少ないため参考になった。また応援支援の体験を聞かせて頂いた事で、実際の対応や内部の様子を知る事ができた。コロナ禍であっても普段通りの生活を送れるようにしていく事が大切であり、そのためには普段からの支援の基盤を整える必要がある事を認識できた。</p> <p>自分達は守秘義務を持った専門職として必要な情報を必要に応じ適切に利用する事で正しい対応や支援に繋がって行く必要があるという事も再認識できた。高齢者支援に関わる事業所同士が共通認識を持ち、繋がりを意識しながら支援にあたって行きたい。</p>
<p>施設での集団対象、集団取り組みの、力強さを感じました。</p>
<p>本来目指しているところは同じであるにも関わらず、利用者のサービスの確保（ケアマネ）に対し、いかに事業所を安全（感染しない）に運営するかを優先してしまう事業所との立ち位置の違いから生じるズレの本質とその課題</p>
<p>それぞれが係わる沢山の人へ、関わり方を大切にしていることが分かりとても感動しました。その人を思う苦悩だったり大変な事だったり共有し、助け合えることが今もこれからも必要だと実感できたセミナーでした。貴重なお時間をありがとうございました。</p>
<p>自身の健康被害やリスクを顧みず、忠誠心や責任感のある福祉人材の存在のおかげでこの動乱の中でも成り立っているのだと感じました。（自分は残念ながら違います）</p>
<p>他事業所で取り組んでいるコロナ対応の内容を伺え、自施設での参考とさせていただいた。</p>
<p>それぞれみんなが同じようなことで困ったり悩んだりしているのが分かった。実際に応</p>

<p>援に入った方の体験談も聞けて、震災当時を思い出した。</p>
<p>コロナ禍で自分が今やれることやらなければならないこと、必要な人に必要なサービスを提供していくことが大切。守秘義務はあるも情報を共有することによって権利を守れることもある。コロナでの実際に支援にあたった方の声を聴き、「普段からの備え」「医療との連携の大切さ」などを再確認できた。普段から多職種のつながりや協力できる関係を築き上げていく重要性を改めて感じさせられたセミナーでした。</p>
<p>過剰なサービス制限で必要な人にサービスが提供されなくなる、個人情報の守秘義務で必要な情報が行き渡らなくなるなどの時に対応をどのようにすれば良いか再確認できました。</p> <p>実際のコロナ禍での対応をされた方のお話を聞き、非常時でも滞りなく必要な対応ができるように普段からの連携や協力体制の確保が重要と改めて考えさせられた講和でした。</p>
<p>普段聞く事の出来ない他職種の方のお話を聞くことが出来て大変勉強になりました。</p>
<p>自分たちだけではどうにもできない非常事態に陥った場合、横のつながりがあることで、互いに協力して乗り越えられることができるのだと強く感じた。</p>
<p>グループワークで一緒だった方達の業種がそれぞれ違っていたので、違った立場からの話が聞けて良かったです。特に応援支援に携わった方のお話は、衝撃でした。自分自身も感染するかもしれないというリスクを抱えながらの支援。お話を聞いていて心が苦しくなりました。今は感染者が減っているが、まだまだ安全とは言えない。早く、以前のように生活できるようになってほしいと強く願います。</p>
<p>コロナ対策を講じている中で、やはり関東圏域の帰省者がいるとどうしても身構えてしまい、外出サービスの利用控えにつながります。</p> <p>施設においては過剰ともいえるほどの面会制限もあり、通常に業務に影響が出ている等の話もできました。しかし、私自身も関東圏からの帰省の親類がいるご家庭においては短時間訪問、モニタリングのお願いをしています。</p> <p>ひとたびクラスターが発生すると、介護業界は多種、サービス利用しており、影響、拡大も深刻になります。コロナに対しての知識は皆さん、周知していますが、それでもいろいろな場面で規制してしまう事情も理解できました。</p>
<p>居宅支援者として、多職種で新型コロナに関してだけでなく共に協働していくことが大切と思いました。日頃から風通しを良くして気軽に話し合える環境となれるようにしたいです。</p>
<p>感染対策について試行錯誤の毎日でしたが、他の施設ではどのような取り組みをしていたのか、陽性者の直接介護をされた方はどのような生活だったのかを想像することもなく、目の前の業務で手いっぱいでした。貴重な体験をお聞かせ頂く機会があって大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>直接支援にはいった話しが聞けたことと、発表者と同じグループで、質問もできたので大</p>

<p>変参考になりました。</p>
<p>コロナ感染の流行時期に、私は自粛（業務）をしていましたが、直接支援や玉突き支援で活動していた方々がいて。その準備も事前に行われていた。</p>
<p>普段からの力「普段力」がいかに重要か体験の方のお話を聴いて感じた。</p>
<p>災害と同じで普段の行っている【普段力】が重要。利用者は感染症に対して殆ど無防備の状態と変わらない。有事(コロナ感染)があったから、怖いから閉鎖するという考え方は正しく恐れてない証拠ではないかと思った。正しく恐れるためにももっと事業所の方には参加して話を聞いてほしかった。</p>
<p>業務が行えないような不測の事態になった時に備えての訓練などは行っていなかった。事例発表された方々は事前の訓練を行っていても不安があったとのことだったので、日ごろからの準備や訓練が大事だと感じた。まずは法人内での訓練を行う事。更に近隣の事業所との連携が、平時から取れる状況を作っていきたいと思う。</p>
<p>業種の枠を超えて連携や想いを共有すること、顔を合わせることの大切さを感じました。</p>
<p>災禍における各事業所の取組等、今後も積み重ねが必要であると思います。その一片でも垣間見ることができ、とても有意義に感じた。</p>
<p>グループワークで話をした際に、法人を超えた応援体制を知らない方が多かったので、もっと皆さんに知っていただき、さらにいざという時に応援できると手を挙げる方や、理解ある中で応援に行ける体制になるといいと思いました。</p>
<p>ZOOM は効果的でとても良いですが、やはり実際会えればと思いました。</p>
<p>実際に支援に入られた方の実際の経験談を聞くことができ良かったです。Zoom での研修会であり出向かなくても他事業所との情報共有ができたので良かったです。</p>
<p>利用者の不利益になるようなことや偏見をグループワークで現状を聞くことができました。</p>
<p>今回のセミナーを受けるまでは「横のつながり」をさほど意識していなかったと振り返ることができた。この時だからこそ、情報共有、連携、協働していくことの重要性の意味を考えていくことが大切なんだと感じました。</p>
<p>コロナ禍での大変さを共有できた事と応援支援の体験談から、顔写真入りのケアシートがあると良いという事を伺い参考にさせていただきたいと思いました。</p>
<p>参加者との意見交換（グループワーク）を通し、お互いに思い感じていたことは、早くいつもの（普通に）生活に戻していくということでした。普段から取り組んでいる話し合い（機会）を継続していきたいと思います。</p>

普段からの「横のつながり」について取り組みたいこと

<p>事業所で担当する地域の事業所との良好な関係性の構築,法人を超えた、施設同士の交換研修</p>
<p>お互い様の気持ちを忘れないこと</p>

顔の見える関係を普段から作っておくこと
<p>経験の浅さやコロナ禍になってからの対面研修が少なくなったことで、まだまだ個人的なワーカーとしての横のつながりが少ない状態が続いている。そのためクライアントの支援をする中で電話のやりとりだけでも様々な施設相談員やケアマネジャーに認識しあえて相談もしあえるようになりたい。</p> <p>ケアマネさんが医療に求める役割や医療との連携で困ったことなどが教えていただける場があるといいと思いました。</p> <p>一番大切なことは、顔がみえる関係性を作っていくことが大切だと思います。普段の相談等のやりとりを大切にしていきながら、今後も研修会等を通じて関係性をつくっていければと思います。</p>
地域の連絡会への参加
<p>まずは支部単位でのつながりと隣の支部までのつながりを持ち緊急時に支えあえるようにすることが必要だと教えてもらい、リモートでの研修を活用して関わりを持てるようにしていきたいと思いました。</p>
必要な情報の共有をスムーズに行うにはどうしたらいいか。
さまざまな研修に参加することや異業種の研修にも参加してみたい。
特にしていません。
<p>どんな支援をするかは、その時の必要な支援になると思うけれど、お互いに協力し合う仲間であるという意識を持てる機会があれば、また今回のように職種を越えて話す機会があればと思います。</p>
普段から連携を意識した対応を実施したい
<p>地域の事業所や医療機関などと、情報の共有、連絡や報告等図れる体制作りができるように取り組んでいきたいと思いました。</p>
<p>各地区の連絡協議会や担当者会議等での情報の共有、報告に時差が生まれないような横のつながりの関係の構築も必要と感じた。</p> <p>例（障がい事業所⇔介護事業所）</p>
<p>最近もクラスターの情報が伝わってこず、自分たちが関わる利用者さんへの対応についての判断が難しくなることが何度かありました。個人情報保護を超える対応。守秘義務をしっかり理解したうえで、自分たちで情報を集める。何とかする。という対応を今後実践できればと思います。</p>
<p>顔の見える関係をつくる為、積極的に研修会や情報交換ができる場に参加しています。そして、知り得た情報を活用し、連携を積極的に図ることに努めています。</p>
<p>具体的に出せませんが、とにかく顔を会わせることと、関心を持つことで、一歩動いてみようと思っています。共通の話題で話す機会を作ることは、随時やっていく。</p>
<p>普段からのネットワークだけでなく、それ以外の事業所等とのつながりの必要性を感じた。施設内では実際にクラスターが発生した時のシュミレーションを行っているが、内部</p>

<p>完結の形となっていたので、外部から協力をいただいた時のシュミレーションを行い、次に横のつながりについて検討したい。</p>
<p>“お互いの気になったこと”の情報共有。他事業所、各専門職の強みと弱みの共有。分け隔てなくコミュニケーションを取っていくこと。</p>
<p>医療との連携について、利用者様を中心として各医療・サービス間で必要な情報の共有を正確によりスピーディーに行っていくために、クローズド SNS などの情報共有システムを活用できないか考えています。</p>
<p>情報共有をどうすれば円滑に行っていくか。知ることで、「あそこの施設で、コロナ出たんだって」となり、風評被害やあらぬ話が広まらないような配慮も必要かと思います。同じ圏域のみか、町内か、もっと広げたほうがよいのかは、今は自分の中ではなんとも言えません。</p>
<p>利用者様を中心とし、些細なことでも共有しております。</p>
<p>普段から様々な事業所、機関と情報共有や話し合いをできるといいと思いました。</p>
<p>他事業所、他職種との情報交換。</p>
<p>研修等の参加を行っていく。</p>
<p>行政も含めた連絡体制の在り方について、整備する必要があると感じました。</p>
<p>気になった事はケアマネさんに連絡するようにしています。なかなか都合が合わず参加できない事の方が多いですが薬剤師と介護支援専門員とのリモートサロンの開催はとてもありがたいです。</p>
<p>地域の同業や多職種のネットワークづくりを地域ケア会議や研修会を通して広げていきたいです。</p>
<p>今回のようなセミナーを定期的に組んで頂き、意見交換の場を設ける。できれば、地域で同じ事業の方限定などもできたらより効果的だと思う。 施設職員は、他施設の職員との交流の機会がほとんどないのが現状である。多職種間の交流だけでなく、同職種間の交流の場も作り、研修や情報交換などをおこなえたらと思う。</p>
<p>横のつながりの大切さ、多職種間での情報共有は必要と感じた。</p>
<p>支援を受ける側のしてほしいことやしてほしくないこと等理解したうえで本人主体が当たり前の共通理解になること</p>
<p>普段から近くの事業所同士(遠くても良いのですが)で、連携の取り方などを定期的に話す場があると良いのではないかと思います。zoom も使えるようになってきていると思いますので、ほんの1時間程度でも顔を合わせて話ができればと思います。</p>
<p>業種や職種に関係なく、非常時には皆で助け合うという意識や取り組みができれば良い、と思います。コロナに限らず、災害時には必要かと思いました。</p>
<p>特定事業所同士の研修会は開催しているので、情報共有や連携の仕組みを作っていきたい。また、包括主催の地区の連絡会もあるので、同じような横のつながりが出来る仕組みを作っていきたい。</p>

<p>実務に役立つケアマネ同士のつながりができると良い。</p>
<p>今後、市町村はじめ多職種の事業所との連携を図り、災害時に他方面で対応出来るような継続的事業計画を策定していく必要があると感じました。</p>
<p>福祉サービス等を必要とされる方のために専門職者間の顔の見える関係作りができるようにしていきたいと思っています。</p> <p>また、専門職者のみなさまが医療と介護の垣根がなく気軽に話し合えるような仕組み作りも併せて行いたいと考えております。</p>
<p>情報を共有することでつながりだけでなく良い支援、利用者に対して有意義なものに繋がられるように取り組みたい。</p>
<p>他の支からの参加で、登米市とは違った横のつながり体制ができており、当市でもその取り組みができていたら、尚心配不安なく対応できるのかな・・・と思いました。</p>
<p>居宅生活者の多職種連携で生活をサポートする取り組みネットワーク</p>
<p>利用者の不利益にならない様にするための情報共有</p>
<p>他施設との情報交換をもっとできると良いのかなと思いました。</p>
<p>職種を超えてお話できる機会があれば、セミナーでも親睦会のようなものにも積極的に参加するようにしたい</p>
<p>同じ職種だけでなく、他の専門職との意見交換も積極的に行っていきたい。</p>
<p>実際に顔が見える関係作りを心掛けている。</p>
<p>今まで以上に声を掛け情報の共有や連携を図っていく。職種を超えた横のつながり、普段から災害時にすぐ取り組めるように協力を求めていく。</p>
<p>事業所の垣根を越えての関係性が大切になってくる、それぞれの役割を再確認し普段から連携を図れるように取り組んでいきたいと思います。</p>
<p>新型コロナウイルスだけではなく、いろんな情報交換の機会があると事業所や自分自身のスキルアップになると思う。研修であったり、業務中でのつながりを作ることももちろん大事だが、仕事を超えて雑談中での情報交換、情報共有、ざっくばらんな方がリアルの話も聞ける事が多いと思う。</p>
<p>個人情報を守る行政は情報を流さない傾向にありますが、コロナ予防のために必要な情報は、必要なところに流すべきだと思います。私たちにできることは、感染の拡大を予防するために横につながりを強化し情報の共有をはかることが大切だと思います。</p>
<p>他事業所さんと共通の認識で話し合えるようにしていきたいです。</p>
<p>法改正後、短期間で、業務への取り組み方法や支障などを話し合う機会が欲しいです。</p>
<p>普段からの つながり。ですね。</p>
<p>感染症流行時期でも、交流の機会を確保したい。</p>
<p>ケアマネジャーの連絡先やアドレスは把握していたが、今回セミナーを開催する機会を頂き、多職種の事業所のメールアドレスを把握する部分もあった。今後の研修会や災害対</p>

<p>応に備えて支部のほうで、連絡先やメールアドレス等の一覧をまとめることなどしていきたい。</p>
<p>支部のほうでもケアマネだけでなく居宅サービス事業所のメールアドレス等を把握し、有事の際や今回のような研修などに役立てていきたい。</p>
<p>コロナ禍もあり、定期的に行えていた医療関係者と福祉事業所との会議が行えていない。以前のようにとはいかないまでも、定期開催し連携が取れる、つながりが途切れないようにしていきたい。</p>
<p>顔が見えて連携を図ることができること、想いや悩みや現状などを共有する場をもつことが大切であり、今後コロナ禍でもできる連携を考えていきたいと思います。</p>
<p>各担当者の把握など</p>
<p>今回、初めてこのような研修に参加しましたが、このような研修、グループワーク等を通してお互いに顔を見たり、つながりを日ごろから作っていくことが必要だと感じました。</p>
<p>情報交換等メールで共有等</p>
<p>他事業所と様々な情報共有することで利用者さんへのより良いケアにつながると日々感じています。今後もつながりを大切にしていきたいと思います。</p>
<p>情報共有と守秘義務は相反するものがあるものの利用者の不利益にならないように取り組みたいと思います。</p>
<p>生活を支えることに必要な情報は共有、連携できるよう意識して行っているが、新型コロナに限らず、ケアマネジャーとしての役割は何かを考え、進んで発信できる力を持ち、枠を超えた横のつながりが行えるよう努力していきたいです。</p>
<p>今回の研修のように、支部の枠を超えて、横のつながりが持てる機会を増やしていただけるとありがたいです。</p>
<p>普段から取り組んでいる話し合い（機会）を継続していきます。また、地域ごとの情報を共有し、すべての事業所で感染対策（事前の備え）を行い、「今日も一日あたりまえを守り、困ったときはお互い様」と、共通認識を忘れずに取り組んでいきます。</p>

その他

<p>応援派遣をされた皆様、お疲れさまでした。事例を通して、日頃からの仕事や技術が『いざっ。』というときも誰かの役に立つことを忘れずに、1つ1つ確実に自分の実になるように努めていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>「横のつながり」ととても大切なことだと感じました。セミナーを企画していただきありがとうございます。</p>
<p>初めての事態に直面してどうすればいいの？ということが多かったが今回この機会で他の地域がどんな対応していたか？他の職種はどんな対応をしていたのか？そこでの苦労や新たな問題点を知ることができて良かったと思う。柔軟に対応するための情報共有の重さや、こういう時だからこそのお互い様の考え方など改めてこの状況を良い経験とし</p>

<p>て次に活かしたいと思う。</p>
<p>送信が遅くなりまして申し訳ございませんでした。 このような貴重な機会を頂き誠にありがとうございます。 また是非参加させていただきたく存じます。</p>
<p>今後、このような会を継続して行っていく予定はありますか？</p>
<p>「通所利用時に濃厚接触者と該当していなくとも検査対象の職員と接触している」「県外からの来客がある」との理由で通所利用や訪問サービスの利用ができなくなり、日常生活に支障が出ていたこともありました。また、事業所ごとに対応に違いもあり利用者・家族も困惑することもありました。普段からのつながりや必要な情報の共有が必要だと感じました。</p>
<p>常日頃の心構えや準備等を定期的を確認し、備えることの大切さを考える良い機会となりました。ありがとうございました。</p>
<p>今回は改めて、緊急発生時のマニュアル作成について見直す良い機会になりました。</p>
<p>情報共有と守秘義務のバランスの難しさを考えさせられた。地域で陽性者が出た施設から、その対応で実際に良かった事や改善点など、タイムリーに情報共有できるようなネットワークがあればと思っていたが、簡単なことではないのだなと思った。 思ったよりも介護事業所・介護職員の参加者が少なく、残念だった。訪看や訪問介護、施設などからの参加者がもっと増え、様々な意見交換ができれば、さらに有意義になると思う。開始時間があと30分～一時間早いほうが参加しやすいのではないかと感じた。</p>
<p>今回、何カ所かお手伝いに行かせてもらいましたが、これをきっかけにして今後も繋がっていくことができれば幸いです。 ご迷惑をおかけした点もあるかと思いますが、ありがとうございました。</p>
<p>介護ワーキンググループのメッセージでは、非日常の中に日常があり、その中で平常心を失うことなく最後までやり遂げたことに深く感銘を受けました。</p>
<p>ケアマネジャー協会として、行政（保険所等）との横つながりがもう少し取り組みし、各事業所への情報提供ができればいいと思いました。通所や施設系の参加が少なく感じ、時間的な配分問題なのか？少しでも多く参加できるように調整はかれたらと。お疲れ様でした</p>
<p>資料に掲載されたコロナ禍におけるケアマネの遭遇した事例につき多職種での意見等もしてみたかった。</p>
<p>同じ事業の方のお話が聞けると良かったです。</p>
<p>セミナー開催時間が遅い時間帯であり、日中の時間帯での開催であるといい。</p>
<p>コロナ禍ということで集まりが少ないが、今後も多職種で集まれる機会を増やしていければと思います。</p>
<p>介護ワーキンググループの方、2名の実例を聴講しとても感動しました。 直接派遣に出向き、着慣れない防護服と暑さとの闘い、利用者様とのコミュニケーション</p>

を図るまでの難しい等、研修を終えてからも何度も読み返し、深く染み入りました。

登米支部のセミナーでも支部内の事業所の方や支部以外の協会の方もご参加頂き、これも横のつながりだなと感じ、心強かったです。